

「与論小学校の与論の十五夜踊伝承活動の取組」

1 学校名

与論町立与論小学校

2 学年・人数

4～6年生男子児童（計22人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年9月 与論小学校（教室・運動場）

(2) 発表の日時・場所

令和4年10月2日（日）与論小学校運動会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

与論十五夜踊（よろんじゅうごやおどり）

(2) 由来

1561年（永禄4年）に，当時の与論城主が，島内・琉球・大和の芸能を学ばせ，当時の島の娯楽としたもの。旧暦3月・8月・10月の十五夜に行われる。

(3) 構成等

初めに，二番組・一番組合同で雨乞いの踊りを奉納する。

その後，二番組・一番組の順に踊りを奉納し，最後に六十節・沖泊まりを奉納する。旧暦8月の十五夜では獅子舞と綱引きも行う。

5 保存会や地域との連携の具体

与論十五夜踊は本来世襲制で行われていたが，少子化の影響もあり，現在はその限りではなく，教育委員会や町と協力しながら伝承・保存に努めている。その事業の一環として現在は与論小学校の児童に，二番組・一番組双方の踊りを伝承する活動を行い，後継者育成に努めている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

今年度より，教育課程特例校として，特設した海洋教育科「ゆんぬ学」の時間を使い，与論十五夜踊保存会の踊り子に直々に指導を受けている。学校の運動会で発表することで，地域の方々に披露する機会を設けている。

以前は豊年祭での児童による奉納もしていたが，新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え，現在は児童の奉納は中止となっている。

なお，令和5年度の海洋教育科「ゆんぬ学」の時間には，与論十五夜踊についての調べ学習を加え，さらに伝承していく意味や必要性を探究していけるようにする。

7 取組の様子



【与論十五夜踊保存会の方々との練習（与論小学校文化交流室，運動場）】



【運動会では地域の方々に与論十五夜踊を披露（与論小学校運動場）】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

今年は4年生なので初めて「与論十五夜踊」が踊れます。練習が始まると、「与論十五夜踊り保存会」のみなさんが与論小学校に来くれました。ぼくは少し緊張したけれど、とても優しく教えてくださったので、どんどん覚えることができました。

運動会の日、教えてもらった「与論十五夜踊」を一生懸命思い出しながら、発表しました。ドキドキしたけど、間違わずに踊れました。終わったあと、見ていた人たちから拍手をもらってとてもうれしかったです。

今年の3年生もきっと来年を楽しみにしていると思うので、ぼくが5年生になったら4年生にしっかり教えたいです。そして、大人になったら子供に教えられるようになりたいです。

【十五夜踊り保存会】

与論島の伝統の一つとして「与論の十五夜踊」を受け継いでいるが、年々後継者が減ってきており、新規会員の加入や育成が課題となっている。また、昔は演目の大部分を踊ることができていたが、450年以上前から現代まで受け継がれてきている中で、演目によっては消滅の危機にあるものもある。

与論小学校の児童には、国の重要無形民俗文化財である十五夜踊を学ぶことで、地域に誇りをもち、郷土愛をもって未来へつなげてほしい。